平成　30　年度　指定管理者評価シート

施設名	：青梅市火葬場
指定管理者名	：富士建物管理・富士建設工業共同体 （構成員）富士建設工業株式会社
担当課	：市民課

評価項目		評価内容	指定管理者評価	確認資料等	市評価	判断のポイント
業務履行	業務体制	サービス提供や施設等の維持管理のために適正な人員配置がされているか。	◎	事業報告書 日報	◎	① 施設ごとの職員配置の状況 ② 防火管理者の設置状況
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	○	事業報告書 月報	○	① 指定管理者事業計画書、実績報告書の提出 ② 月報類の提出
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	○	日報 現地調査	○	① 受付簿、予約簿等の記録方法、管理方法 ② 業務日報の作成方法
	個人情報	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。	○	事業報告書 ヒアリング	○	① 個人情報保護に対する対応状況 ② 書類の保管方法
	自己評価	利用者満足度の向上のための対応はされているか。	○	アンケート ヒアリング	◎	① アンケート調査の実施状況 ② 利用者満足度を上げるための取組状況
維持管理	清掃	指定管理者の管理区域内は、定期的かつ適正に清掃がされているか。	○	現地調査 日報	◎	① 各施設の清掃状況 ② 外回りの清掃、植栽の手入れ
	修繕	管理区域内の小破修繕、簡易修繕は適正にされているか。	◎	事業報告書 ヒアリング	○	① 指定管理者による修繕の実施状況 ② 設備保守点検の実施状況
	安全性	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。	○	現地調査 日報	○	① 施設全体の施錠、見回り等の状況 ② 火気の点検状況
	警備	管理区域内の保安・秩序の保持	○	日報 ヒアリング	○	① 各施設の巡回警備、機械警備の状況 ② 出入口等の開閉、施錠確認
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	◎	マニュアル 連絡網	○	① 緊急時対応マニュアルの作成の有無 ② 緊急時連絡体制（連絡網）の有無
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	○	事業報告書 現地調査	○	① 消防訓練等の実施状況 ② 日常業務での防止策、対応状況
会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	○	事業報告書 帳簿類	○	① 収支報告書の内容 ② 会計帳簿類の記録確認
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	○	事業報告書 現地調査	○	① 現金の保管状況 ② 金庫の鍵の管理方法

【評価欄の評点】◎：協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。　○：協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
△：協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。　×：協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

1　指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	3
○	10
△	0
×	0

記入欄
業務体制　：　市民様の「思い」を最優先とした業務進行に努めました。
（断らない。出来る限りの要望に応える。応えられない場合の代替案の提示等）
自己評価　：　葬送業務の多様化に伴い、市民様・葬儀社様からの御意見や要請を傾聴し、安心・安全な運営に努めました。
清掃　：　火葬場周辺の美化作業には墓地公園清掃作業者様と共同で効率的な整備に努めました。
修繕　：　軽微な火葬炉修繕実施(イグナイター清掃・調整・交換作業。熱電対管交換作業)。
緊急時対応　：　危機管理マニュアル（2018年10月9日改正）
土砂災害対応マニュアル（2018年11月22日策定）
緊急連絡表（2018年12月27日改正）
管理　：　動物火葬受付書徴収分につきましては、施錠管理し、定期収集して頂いております。

2　市評価における評価理由、意見等

評点	数
◎	3
○	10
△	0
×	0

記入欄
業務体制・・・・・職員の配置等について仕様に沿った配置がなされていた。仕様より優れた積極的な自主対応がなされていた。
事業報告・・・・・定期報告は遅滞なく提出されていた。
業務記録・・・・・業務の記録や管理は適正になされていた。
個人情報・・・・・利用者等の個人情報の管理は適正になされていた。
自己評価・・・・・利用者満足度の向上に向けた意識が徹底され、積極的な取組みがなされていた。アンケートについては、施設の特殊性から利用者の声を聴くことは難しいため、葬祭業者に意見聴取するなど努力が見られた。
清掃・・・・・・・・・施設は常に清潔に保たれていた。利用者が快適に利用できるように、細かい部分にも配慮して清掃を行っていた。
修繕・・・・・・・・・仕様に沿った保守点検が実施されていた。修繕は必要な箇所を適切に行っていた。
安全性・・・・・・・点検等が適正に行われており、安全確保に配慮していた。
警備・・・・・・・・・巡回警備、機械警備等が行われ、管理区域内の保安が保たれていた。
緊急時対応・・・防災訓練の実施や講習の受講、マニュアルの整備など緊急時の体制を整えていた。
（会計）処理・・・収支報告書の内容について、適正な支出であると判断する。
（会計）管理・・・清掃リサイクル課との委託契約による公金管理について、適正に行われている。
・利用者等に対する接遇を徹底し、葬祭業者にも協力を呼びかけるなど、利用者満足度向上に向けた意識が高い。
休場日に自主的な点検・対応を行う、コスト削減や待ち時間の短縮の研究など、より良い運営のための努力がみられる。
今後も、利用者満足度向上のための取組みを行い、継続的かつ安定的な業務遂行を期待する。